

千代田図書館

千代田区立
千代田図書館
情報誌

さあ、	……
図書館に	
いこう。	

vol.7

本をさがしたり、本を読んだり

本について話しあったりする場が

図書館や書店のほかにもたくさんあります。

そんな場をきっかけに

じっくりと合う一冊を見つけてください。

新刊書店編

図書館ですばやく調べる!

コンシェルジュがゆく

「調べものツール徹底活用術」 神保町の三大書店案内

表紙 小川 哲

千代田探し

さまざまな分野で活躍中の
“千代田人”に聞きました

有限会社 富山房
代表取締役 **坂本起一** さん

明治19年に神田神保町で創立し、「大言海」などの事典・辞書、一般書をはじめ、「かいじゅうたちのいるところ」など、誰でも一度は目にしたことのある絵本も数多く出版している富山房。その創立者から三代目の坂本起一さんが神保町の書店や出版社などについて書いてくださいました。

千代田区神田神保町という町は、私にとって極めて縁の深い町です。父のあとを継いで富山房に会社員になったのが1960年ですから、その時から数えても50年、神保町に通っていることになりました。神田は、「本の町」と言われています。1979年に出版された脇村義太郎先生の「東西書肆街考」(岩波新書)によれば、江戸城に近い神田の辺りは江戸末期、武家屋敷や火除地ばかりで、商業用地ではなかった。その一角、一ツ橋通りに幕府が蕃書調所を移し、これが後に開成所になり、大学南校、東京開成校を経て、東大になったもので、ここが明治新学問の源泉ともいえるところだと述べておられます。さらにこの一帯に学校が次々とできると、新しい住民が増えるにしたがい、付近には商店があらわれ、書物をあつかうものが出てきた。さらに、出版社が出来、それにつれて、印刷所、製本所といった出版物を製作する事業所が生まれ、また、書籍を販売する小売店や書籍を流通させるための取次店が生まれ、明治から百年をかけて、次第に世界にも稀有な書物の同業者町を形成するようになったと書かれています。今日、神保町の交差点を中心に、九段下から小川町に向う靖国通りと神保町の交差点から水道橋に至る白山通りには古書店が並び、一大古書店街を形成しています。新刊書を扱う書店は、三省堂書店神保町本店、東京堂書店本店と東京堂書店ふくろう店、書泉ブックマート、書泉グランデ、十字屋書店、高岡書店、廣文館書店、岩波ブックセンター、ブックハウス神保町と、こんなに古書店、新刊書店が集まっている町は世界中探してもありません。出版社も住所に神田が

有限会社 富山房
代表取締役 **坂本起一**

昭和12年9月20日生まれ。東京都出身。
昭和35年1月、父の死去により富山房社長に就任。
昭和36年3月、学習院大学経済学科卒業、今日
に至る。趣味：クラシック音楽鑑賞、読書。
富山房ホームページ <http://fuzambo.net/>



付く社を専門書の出版社の会である「出版梓会」の名簿で探すと、明石書店、あかね書房、学事出版、風間書房、芸術新聞社、弘文堂、晶文社、新曜社、税務研究会、大河出版、中央経済社、東京堂出版、同文館出版、二玄社、日本経済評論社、白水社、白桃書房、美術出版社、富山房、森山書店、八木書店、山川出版社、有斐閣があり、さらに会員ではありませんが、岩波書店、小学館、集英社があります。一方、脇村先生が「東西書肆街考」で述べておられた、印刷所、製本所、取次店は神保町に少なくなりました。地価が上がり、交通渋滞に悩まされ、地価の安い土地に移っていったからです。それに、再開発で「神田村」の名で親しまれていた中小の特色ある取次店が移転してしまいました。ですから「東西書肆街考」に描かれた意味での同業者町ではなくなったのです。しかし、神田古書店連盟主催の「東京名物神田古本まつり」は51回を数え、出版社、書店、古書店連盟、新聞社、地元商店が実行委員を務める「神保町ブックフェスティバル」が20回を迎えて催されるなど本の町に相応しい行事が読書人の人気を呼ぶようになりました。これは、本の町の新しい顔です。さらに子どもたちが本に親しむよう児童書を充実させ、読み聞かせを行う機会が増えてきました。千代田区役所にある千代田図書館も、子どもの精神的な成長に必要な蔵書の充実を図り、読み聞かせの会を催されておられると聞き、大変嬉しく思っております。これからは、電子書籍、出版のデジタル化の時代がはじまります。本の町の未来が明治から今日に築き上げてきた文化の上に新しい文化を積み重ねて更に発展することを願っております。



『東西書肆街考』
脇村義太郎 著
岩波書店

『かいじゅうたちのいるところ』
モーリス・センダック 作
じんぐうてるお 訳 富山房



『新編 大言海』
大槻文彦 著
富山房





ビジネス情報もすばやく調査！調べものツール徹底活用術

海外ではビジネスの情報収集のために、図書館を利用することは極めて一般的です。取引先への訪問前に会社情報を調べたり、マーケティングのための統計調査をしたりすることもあるのでは？ そんなときに役立つ資料や、その資料をすばやく見つける手段が図書館にはたくさんあります。これらの活用法をマスターすれば、仕事の効率アップ間違いなしです！ ビジネスだけでなく、学習や研究、お子さまの宿題にも役立ちます。

■ レファレンスサービス[資料調査]

専門のスタッフが、皆さまの知りたいことを調べられる資料を探すお手伝いをします。図書館で必要な資料が見つからない場合でも、専門機関やWeb情報などをお伝えしたり、ご自身で調べる方法(セルフレファレンス)をお教えしたりするので、情報収集の近道となります。

お受けできること

- ・資料の探し方案内
- ・資料の所蔵機関の調査と紹介
- ・あるテーマに関する文献の調査と紹介
- ・書誌事項(書名、編著者名、出版関係事項、巻号など)の調査
- ・専門情報機関などの紹介

お受けできないこと

法律相談、医療相談、人生相談、美術品鑑定、調査・研究の代行、学習課題の解答など



こんなときに…(※1)

- 「業界の特色や市場規模、課題・展望などを調べたい」「主要企業の関係性や売上高などを知りたい」
- 「国内の市場規模やマーケットシェアの高い企業は?」「廃棄物やリサイクルなどの環境に関する法令を調べたい」
- 「環境に関する1年間の出来事や動向、統計を知りたい」「この本の作家のことを詳しく知りたい」

<利用について>

レファレンスサービスカウンターへ直接お越しください。9階=調査研究ゾーン内

※電話やメールでは承っておりません。

■ オンラインデータベース

過去の出来事や広告掲載状況などを調べるときにも役立つ新聞記事や、法律や医療・科学などの専門分野の情報もすばやく検索できるデータベースなど、9種類の有料データベースが無料で利用できます。

データベース名	調べられること
聞蔵IIビジュアル 朝日新聞	「朝日新聞」1879年～1984年の記事と紙面イメージ、1985年以降の記事 「知恵蔵」(現代用語辞典) 「AERA」記事
ヨミダス歴史館 読売新聞	「読売新聞」1874年～1989年の記事と紙面イメージ、1986年以降の記事 「THE DAILY YOMIURI」記事 「人物データベース」(各界の有識者を中心に経済人、行政関係者など)
毎日Newsパック 毎日新聞	「毎日新聞」1872年3月～1958年12月の紙面イメージ、1987年以降の記事 「エコノミスト」1989年以降の記事
日経テレコン21 日本経済新聞社	「日本経済新聞」「日経産業新聞」1981年10月以降の記事 「日経流通新聞」1985年10月以降の記事 「日経金融新聞」1987年10月～2008年1月の記事
D1-Law.com 第一法規	法情報総合「現行法規」「判例体系」「法律判例文献情報」
JDreamII	医療分野や科学技術関連の論文、抄録
JapanKnowledge	百科事典・辞書・ニュース・学術サイトURL集 「日本大百科全書(ニッポニカ)」「会社四季報」「imidas」など
官報情報検索サービス	1947年以降の官報の全文(本紙、号外、政府調達広告版、資料版、目録)
CiNii	学術雑誌や研究紀要などの論文(自然・社会・人文科学分野)

<利用について>

レファレンスサービスカウンターにて貸出券をご提示ください。

1日1回 30分まで ※お待ちの方がいない場合は1回のみ30分延長可能

プリントアウトサービス(20円/1枚 A4サイズ 白黒)

コレも役立つ!

- 「パスファインダー(調べ方案内)」とは、あるテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介する「情報探索の道標」です。ホームページに、上記(※1)のような疑問の調査方法を掲載・更新しています。

1 千代田区立図書館HPトップ 2 ご利用案内 3 パスファインダー(調べ方案内)

- 「データベースの活用法」や「資料の探し方」など、様々な情報探索方法をマスターできるセミナーを定期的に開催しています。ホームページのイベント欄や館内掲示にて開催予定をお知らせしています。



神保町の大型新刊書店がオモシロイ!



神保町といえば古書店というイメージが強いのですが、新刊書店もたくさんあります。今回は、その中でも三大書店といわれる大型書店をピックアップして、独自の品揃えからできた個性豊かな棚やサービス、創立からの歴史などをご紹介します。それぞれの書店の特色を知っておくと、お目当ての本探しがスムーズになったり、意外な本に出会ったりする楽しみが増えますよ。



三省堂書店

明治14年に現在の場所に創業し、現在は国内外合わせて約40店舗となる「三省堂書店」。店名の由来は、論語の「吾日三省吾身」(吾れ日に三たび吾が身を省みる)からとのこと。神保町本店は、学生の多い土地柄、昭和4年から「学生デパート」として親しまれ、現在でも学習参考書など学業に必要な本が豊富に揃うほか、文房具や読書グッズなども多く取り扱い、「学ぶ人」を応援し続けています。6階の洋書コーナーの「言語学」分野と、5階の医学書コーナー「メディカルブックセンター」は、類を見ないほどの充実ぶりです。研究者や専門家の御用達となっています。4階の「自由価格本」のコーナーでは、絶版本や版元の都合等で一般に流通しなくなった新品の本を定価の30~70%引きで販売しています。探していた本や興味のある本が安く手に入るかもしれないのでチェックしてみましょう。



オリジナル商品「しおりひも」は、葉が付いていない本に、元々付いていたかのように装着できるので便利!



医学書が充実の「メディカルブックセンター」

Check!

- ★三省堂メンバーズカード「CLUB SANSEIDO」(入会金・年会費無料)に登録すると、購入した本の履歴がHPで確認できたり、たまったポイントを商品券に換えたりできます。さらに、メールアドレスを登録すると、本やイベントの情報が届くサービスも。
- ★今冬から、洋書や長期品切れになっている書籍を1冊から印刷・製本してくれる「三省堂書店オンデマンド」というサービスがはじまるので、ホームページをチェック!



書泉グランデ

昭和23年、神保町の古書店「一誠堂書店」の次男・酒井正敏氏が独立し、「本が泉のように湧き出る」イメージから「書泉」と名付け創業したのが、現在の「書泉グランデ」。創業当初から、他店とは違った独自の品揃えを運営方針として、取次ぎを介さない独自の仕入れルートを開拓してきたため、入手の難しいマニアックな本が並ぶ棚が各フロアに作られていて、中でも「鉄道」「精神世界」「数学」「武道」「野球」「山岳・アウトドア」の分野は注目の品揃えです。そして、本の品揃えも然ることながら、お客様サービス用のショッピングバッグなど、細かなモノへのこだわりも強く、書店としては日本で初めてビニール製のショッピングバッグを使用したそうです。現在、オリジナルのしおりは、約3ヶ月に一度デザインが変わり、シーズン毎に8、9種のデザインを日替わりで配布したり、ブックカバーも常に数種類を用意したりしているそうなので、書泉へ行ったら、そのような細かな部分にも注目してみてください。



しおりはHPをチェック! トップ画面一番上の絵柄が現在配布中のデザインです。



「鉄道」コーナーでは、銚子名物「銚子電鉄ぬれ煎餅」も販売。

Check!

- ★6階「鉄道」コーナーは、鉄道関係の本やグッズをはじめ、入手しにくい同好会の出版物などレアなアイテムが豊富!
- ★2階「登山・アウトドア」コーナーは、山好きの前店長が担当し、自身の経験やお客様との会話から見つけた本を集め、アウトドア初心者から本格派の登山家まで満足する品揃え。
- ★「書泉グランデ」から歩いて数分の系列店「書泉ブックマート」。ここはアイドルの登壇!書店でのアイドルのサイン会や握手会はここから広まったそうです。



東京堂書店

「東京堂書店」は明治23年に取次業として創業。「読書人の東京堂書店」をキャッチフレーズに、読書好きが唸る個性的な本を揃えています。こちらには、多くの書店で見かける書店員によるコメントPOPはありません。それと、売れ筋の本でも平積みにするのは一山のみというディスプレイへのこだわりもあります。そこには、作家をはじめとする出版に関わる人たちの想いが形となった本そのものを、先入観なく手に取ってもらいたいという理由があります。1階「サイン本コーナー」の数の多さからも、そのような人々と強い繋がりがあることがわかります。また、はす向かいにある「東京堂書店ふくろう店」には、手のひらサイズで人気の「豆本」や東京では見かけない「地方・小出版物」が豊富です。地方出版物には旅行ガイドとは違った奥深い情報が満載!数年前に惜しまれながら閉店した地方・小出版専門書店「書肆アクセス」の島中さんが活躍しているのので、その品揃えは必見です。



ロゴマークのふくろうは「学問の守り神」



ふくろう店には、別ページで紹介した「富山房のえほん」コーナーがあります。

Check!

- ★2階には、「この3人に聞けば本のすべてがわかる!」という「書評の達人 鹿島茂」「紀田順一郎のお買い得コーナー」「坪内祐三ワンダーランド」の3つの棚が設けられています。そのほか、雑誌『週刊日曜日』の連載で紹介された本が並ぶ「辛口論客 佐高信」コーナーもあります。
- ★立花隆氏の著書や雑誌連載記事、同氏が批評した本を、教育・政治・環境・脳・芸術などの分野別に紹介している、3階の「立花隆コーナー」も必見。

電話 03-3233-3312

HP <http://www.books-sanseido.co.jp/>

時間 10:00~20:00

定休日 不定休(年始のみ)

電話 03-3295-0011

HP <http://www.shosen.co.jp/>

時間 10:30~19:30/日祭10:30~19:00

定休日 年末年始

電話 03-3291-5181

HP <http://www.tokyodoshoten.co.jp/>

時間 10:00~20:00

定休日 年始

カーリル

URL <http://calil.jp/>

複数の図書館の本をワンクリックで同時検索！



日本最大の図書館検索サイトというだけあって、借りたい本の検索がすばやくできるシステムです。全国5千館以上の図書館から、通勤ルートなど立ち寄りやすい図書館を「お気に入り図書館」に複数登録しておく、登録したすべての図書館の所蔵確認を貸出状況とともに教えてくれます。さらに、書誌情報からAmazonへもつながります。サイト内では、所蔵検索だけでなく、作家紹介やユーザーが書くお薦め紹介などの情報が満載です。

オススメ

- ★「図書館マップ」では全国約5,200館の公共・大学・専門図書館の検索ができるので、出張や旅先の図書館探しに便利です。
- ★「レシビ」では、ユーザー自身が他のユーザーに「こんなときに読んでみて」というテーマを決めて本の紹介をしています。
- ★「読みたい本リスト」が作成できるので、読み忘れもなくなるかも。

ブックログ

URL <http://booklog.jp/>

Web上に本棚を作る楽しみ・見る楽しみ。



実際の本棚のように、買った本や気になる本を、背表紙や表紙を見せながら並べてみる事ができます。並べた本には、感想や好きなセリフなどを書く項目のほかに、星印での評価や「読みたい・いま読んでいる・積読・読み終わった」などの選択制の項目もあるので気軽に読書記録が付けられます。電子書籍の執筆や出版ができるサービス「パパー」もあるので、本を書きたいと思っているひとは一度チェックしてみてもいいかもしれません。

オススメ

- ★ほかのユーザーの本棚を覗いてみたり、情報交換をしたりと、コミュニケーションの場としても大活躍。
- ★本棚のデザインや本の見せ方も選べるので、自分らしい棚作りが楽しめます。
- ★本のほかにCDやDVD、アプリなども登録もできます。

読みたい本をWebでさがす

以下は各出版社のおすすめコンテンツの紹介です。このほかにも多種多彩なコンテンツがあるので、すみずみまで見てみてください。

朝日出版社 Asahi Press URL <http://www.asahipress.com/>

「今日の一言 英語でどう言う？」
日常でよく使ったり、見聞きしたりする一言が、英語で1日1フレーズ更新されます。(トップ画面)

「本屋さんのブックレビュー 私の棚のイチオシ！」
大量の本と接している書店員さんから募集した「本当に面白かった一冊」のレビューを掲載し、出版社の垣根を越えて本の紹介をしています。(トップ画面>語学または一般書)

岩波書店 Iwanami Shoten URL <http://www.iwanami.co.jp/>

「本との出会い相談室」
「プレゼントにするの」「癒されたいの」「たくましくなりたい」「恋愛タイプ別に選ぶ」などの項目から、さらに細かいシーンを選択したり、Yes-No診断に答えたりして、ぴったりの本に辿りつきます。(トップ画面)

「たびよみ」
国内外を問わず、本の内容や作家に関係する土地、この一冊を読むのにおすすめの場所などを紹介しているので、旅先で読む本選びや、興味をもった土地を深く知りたいときにはチェック！(トップ画面>本との出会い相談室)

PHP URL <http://www.php.co.jp/>

「Voice+ (ボイスプラス)」
雑誌「Voice」の当月号の記事10数本と過去の記事、サイト限定の「WEB連載」や「時事解説・時事コラム」など、ビジネスパーソンに役立つ情報が満載です。(トップ画面)

「雑誌編集者のおすすめ本」
雑誌「The21」「Voice」「歴史街道」の編集者が、毎月、他社の刊行物も含めて、編集者ならではの視点で書いたオススメ本のレビューです。(トップ画面)

日経サイエンス URL <http://www.nikkei-science.com/>

「英語で読む日経サイエンス」
本誌に掲載された記事から、翻訳文と原文を並べて表記しているので、科学の知識や用語を英語で学びたい人に役立ちます。(トップ画面)

「学ぶ・遊ぶ」
頭の体操ができる「素数三目並べゲーム」や「パズリングアドベンチャー」などで遊びながら学べます。(トップ画面)

祥伝社 SHODENSHA URL <http://www.shodensha.co.jp/>

「祥伝社文庫編集部ブログ」
本や編集作業に関することはもちろん、祥伝社のある神保町グルメ情報や、よもやま話など、若手編集部員が気になった様々な話題が楽しく綴られています。(トップ画面)

「祥伝社はtwitterをつけています。」
広報部や販売部、各雑誌など9つのtwitterアカウントで情報を発信。雑誌「からだにいいこと」は、健康や美容情報など誌面に関連したツイートで雑誌をさらに楽しめそうです。(トップ画面)

森の図書館 Biblioteko en Arbaro



お宝本紹介

千代田図書館の閉架書庫にある貴重な資料をご紹介します。

こうぶんそうたいか こしよく 『弘文荘待買古書目』



古書の販売方法には、店頭販売のほか、目録販売(通信販売)やデパートでの即売などがあります。写真の『弘文荘待買古書目』は、古書販売業「弘文荘」が通信販売用に昭和8年から発行した商品カタログで、店主の反町茂雄氏による古書についての詳しい解説と図版が掲載されています。後に国宝や重要文化財に指定された古文書や美しい絵入本なども多数あり、単なる通販カタログを超え、古文書や絵に関心のある人にとっては、読み物としても大変充実した内容です。当館では、このような古書販売目録類を約九千点所蔵しており、古書の街・神保町に近い図書館だからこそ収集できた、全国的にも珍しいコレクションとされています。

? インフォメーション

お知らせ

●携帯電話からも貸出期間の延長ができます。

千代田区立図書館モバイルサイト
<http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp>



≪ 携帯に簡単
アクセス

延長手続きの手順

- 1 モバイルサイト トップ [4]貸出予約状況照会
- 2 ログイン
- 3 貸出中リストの貸出延長ボタンを押す
- 4 確認ボタンを押す
- 5 延長完了

※貸出期間の延長は、次に予約している方がいない場合、1回(1週間)のみ可能

モバイルサイトでは次の項目がご利用になれます。

- [0]お知らせ——— 図書館からのお知らせ
- [1]蔵書検索——— 所蔵資料の検索と予約
- [2]新着案内——— 新着資料の検索と予約
- [3]図書館カレンダー——各館の休館日
- [4]貸出予約状況照会——借りている資料と予約状況の確認、貸出延長
- [5]パスワード登録—— ログインパスワードの登録
- [6]パスワード変更—— ログインパスワードの変更
- [7]ベストリーダー—— よく読まれている本のランキング
- [8]ベスト予約—— 予約の多い本のランキング
- [9]図書館案内——— 1.利用案内(貸出点数と貸出期間)
2.施設案内(各館の所在地や開館時間など)
- [#]メールアドレス登録・変更——お知らせ用メールアドレスの登録・変更

●「この本、買いたい!」と思ったら

図書館コンシェルジュにご相談ください。ご自身で購入したい本を、神保町の書店で探したり、取り置きをしたりするサポートをコンシェルジュがいたします。
 手に置いておきたい本や、いま読みたいのに借りられなかった本などがあったときには、お気軽にご相談ください。
 ※電話やメールでは承っておりません。

1. 新品図書購入案内サービス

コンシェルジュが神保町の書店に在庫を確認し、在庫があった場合には、書店に取り置きを依頼します。購入はご自身で書店へ行っていただきます。

- ①コンシェルジュブースにて、購入したい本のタイトルなどをお伝えください。
- ②コンシェルジュが書店に在庫の有無を確認し、在庫があった場合には本の取り置きを依頼します。
- ③取り置きをした書店にて、ご自身でご購入ください。

2. 古書店案内

コンシェルジュブースにて、探している本のタイトルなどをお伝えください。神保町の古書店に在庫があるかどうかをお調べします。在庫がなかった場合でも、同じ分野の古書を扱う古書店などのご案内もいたします。



ご利用案内

■千代田図書館
 千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10F
 03-5211-4289・4290
 開館時間 [月~金]10:00~22:00
 [土]10:00~19:00
 [日・祝・12/29~12/31]10:00~17:00
 休館日 第4日曜日/1月1日~1月3日/特別整理期間

■四番町図書館
 千代田区四番町1
 03-3239-6357
 開館時間 [月~金]9:00~20:00
 [土]9:00~19:00
 [日・祝・12/29・30]9:00~17:00
 休館日 第1日曜日/12月31日/1月1日~1月3日/特別整理期間

■昌平まちかど図書館
 千代田区外神田3-4-7
 03-3251-5641
 開館時間 [日~土]9:00~20:00
 [12/29・30]9:00~17:00
 休館日 第2日曜日/12月31日/
 1月1日~1月3日/特別整理期間

■神田まちかど図書館
 千代田区神田町2-16
 03-3256-6061
 開館時間 [日~土]9:00~20:00
 [12/29・30]9:00~17:00
 休館日 第3日曜日/12月31日/
 1月1日~1月3日/特別整理期間

■ちよだパークサイドプラザ区民図書室
 千代田区神田和泉町1
 03-3864-8931
 開館時間 [月~土]9:00~19:00
 [日・祝]9:00~17:00
 休館日 第3日曜日/特別整理期間/年末年始

■千代田区男女共同参画センター
 MIW(ミュウ)情報ライブラリ
 千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F
 03-5211-8845
 開館時間 [月~金]9:00~21:00
 [土]9:00~17:00
 休館日 日曜日/祝日/特別整理期間/年末年始

ご利用について

- ・千代田区内在住・在勤を問わず、どなたでもご利用になれます。図書などを借りるには、「貸出券」が必要です。ご住所とお名前が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- ・「貸出券」は千代田区内のすべての区立図書館(室)で共通です。

貸出数(全館合計)

	区内在住者	区外在住者	予約がない場合に限り、貸出期間内に1回のみ1週間延長することができます。返却期限の当日までにご連絡ください。
図書/紙芝居/雑誌	10冊2週間	5冊2週間	
CD	3点2週間	3点2週間	
DVD/ビデオ	2点2週間	2点2週間	



さあ、図書館にいこう。

千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F
 TEL:03-5211-4289・4290
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp> <http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp>

アクセス 東京メトロ東西線、半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分



携帯に簡単アクセス